

平成30年度 保健師中央会議プログラム

日時：平成30年7月26日（木）・27日（金）
会場：中央合同庁舎第5号館 低層棟2階 講堂

7月26日（木）

時間	議題	説明者
9:50 ~ 10:00	オリエンテーション	
10:00 ~ 10:10	挨拶	厚生労働省 健康局 局長 福田 祐典
10:10 ~ 10:30 (20分)	国民健康づくりの最近の動向	厚生労働省 健康局 健康課 課長 正林 督章
10:30 ~ 10:50 (20分)	災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の活動において保健師に期待すること	厚生労働省 健康局 健康課 地域保健室長 風間 信之
10:50 ~ 11:20 (30分)	被災地での保健師活動について	福島県広野町健康福祉課 保健福祉係長 松下 きみ子 氏
11:20 ~ 11:45 (25分)	東日本大震災後の保健活動と被災市町村への支援について	福島県保健福祉部健康増進課 主幹 菊地 とも子 氏
11:45 ~ 13:05 (80分)		昼休憩
13:05 ~ 14:35 (90分)	【講演】 統括保健師の災害時の管理実践能力の開発及び育成について	千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎 美砂子 氏
14:35 ~ 14:50 (15分)		休憩
14:50 ~ 17:15 (145分) ※休憩15分含む	【演習】 災害時の対応力を高める研修の企画・実施・評価の実践 発表・講評	【コーディネーター・講評】 千葉大学大学院看護学研究科 教授 宮崎 美砂子 氏 【ファシリテーター】 国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 上席主任研究官 奥田 博子 氏 千葉大学大学院 看護学研究科 井口 紗織 氏

7月27日（金）

時間	議題	説明者
9:30 ~ 9:35	オリエンテーション	
9:35 ~ 9:55 (20分)	地域における保健活動の推進に向けて	厚生労働省 健康局 健康課 保健指導室 室長 加藤 典子
9:55 ~ 10:00 (5分)	森永ひ素ミルク中毒被害者対策について	厚生労働省 医薬・生活衛生局 生活衛生・食品安全企画課 課長補佐 小柳 隆一
10:00 ~ 12:00 (120分)	【シンポジウム】 ■統括保健師としての取組 ①地区活動を通じた課題の整理・共有のための体制づくりにおける統括保健師の役割 ②地域包括ケアシステムの構築に向けた組織横断的な取組における統括保健師の活動 ③市町村統括保健師配置に向けた都道府県としての取組 ④ソーシャルキャピタルの醸成に向けての統括保健師への期待 ディスカッション	【司会】 自治医科大学看護学部 学部長 春山 早苗 氏 【事例発表】 ①福岡県北九州市保健福祉局地域福祉部 地域支援担当課長 丹田 智美 氏 ②滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課 参事 福井 美代子 氏 ③和歌山県福祉保健部健康局健康推進課 主幹 竜田 登代美 氏 ④福井県健康福祉センター(福井保健所) 医幹 四方 啓裕 氏
12:00 ~ 13:20 (80分)		昼休憩
13:20 ~ 15:35 (135分) ※休憩15分含む	【グループワーク】 統括的な役割を發揮するための現状と課題について 発表・講評	【コーディネーター・講評】 自治医科大学看護学部 学部長 春山 早苗 氏
15:35 ~ 15:55 (20分)	国立保健医療科学院の実施する保健師に関する研修について	国立保健医療科学院 統括研究官 丸谷 美紀
15:55 ~ 16:00	閉会	